

令和元(2019)年度決算(下水道事業会計)

ID 1001711

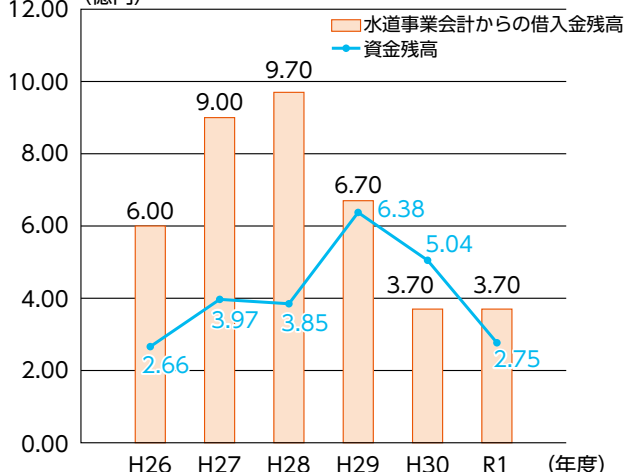
9月定例市議会で、令和元年度の下水道事業会計の決算が認定されました。令和元年度末の水洗化人口は229,350人(前年度より288人減)となり、年間有収水量(料金徴収の対象となる水量)は23,183,140m³(前年度より52,639m³減)となりました。純利益は、前年度に比べ2億9,905万円減少して、4億1,066万円となりました。

資金残高は、企業債(建設改良等の財源に充てるための借入金)の返済に25億8,570万円を要したため、年度当初に比べ2億2,900万円減少しました。企業債残高は203億2,365万円、水道事業会計からの借入金(運転資金に充てるための借入金)残高は3億7,000万円となりました。詳細は上下水道局のホームページをご覧ください。

企業債の償還が経営を圧迫

令和元年度末の資金残高は2億7,532万円で、前年度末に比べ2億2,900万円減少しています。下図のとおり、水道事業会計からの借入金が、令和元年度末時点で3億7,000万円あり、今の資金残高ではこの借入金を完済できない状況です。資金不足の原因は、昭和50年頃から平成の初めに集中して行った污水管の整備による企業債の償還が重くのしかかっていることです。企業債の償還が経営を圧迫する状況はしばらく続くと見込まれます。

資金残高・水道事業会計からの借入金残高の推移 (億円)



上下水道局経営企画課 (☎77・2104 FAX72・5381)

黒字経営も資金は減少

1年間の資金収支を業務活動、投資活動、財務活動に区分すると以下のとおりです。業務活動で得た資金を投資活動や財務活動に使った結果、2億2,900万円減少して、資金残高は2億7,532万円となりました。

業務活動

下水を処理するための収入と支出

18億5,853万円のプラス

投資活動

下水道管やポンプの整備のための収入と支出

3億1,663万円のマイナス

財務活動

借金や借金返済のための収入と支出

17億7,090万円のマイナス

資金増減額 2億2,900万円減少
資金期首残高 5億432万円
資金期末残高 2億7,532万円

令和元年度も黒字でしたが、企業債の返済が影響し、資金は減少しました。人口減少等による水需要の減少や企業債の返済のため、今後も毎年度、資金は減少していくと予測しています。

ID 1028021

水道水フッ素およびその化合物検査結果

採水場所	系統	採水月日	
		10月13日	11月24日
すみれが丘	惣川浄水場	0.15	0.15
ゆずり薬台	惣川浄水場(生瀬経由)	0.15	0.15
長尾台	小浜浄水場(川面経由)	0.24	0.24
安倉中	小浜浄水場	0.29	0.30
東洋町	阪神水道	0.06	0.08
中山桜台	小浜・県営水道	0.17	0.20
大原野	小浜・県営水道	0.14	0.19
武庫山	惣川・阪神水道	0.14	0.14

単位=mg/l、厚生労働省の水質基準は0.8mg/l以下です。

上下水道局浄水課(水質検査室)
(☎83・6940 FAX83・6941)

1月12日(火)から仮設庁舎での業務を開始 ID 1039226

上下水道局庁舎は、耐震性が不足しており、来庁者や職員との安全確保のため、早期に耐震基準を満たした建物に移転する必要があります。

そこで新庁舎が完成するまでの間、市役所本庁舎横に仮設庁舎を建設し、1月12日(火)から仮設庁舎で業務を行います。ご来庁の皆さんにはご不便をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

水道管の凍結にご注意 ID 1001664

これからの約1か月は1年間で最も寒い時期です。厳しい冷え込みにより水道管の中の水が凍結する恐れがあります。露出した水道管がある場合は、布を巻くなどして保護してください。詳しくは上下水道局お客さまセンターへ。